平成３１年１月２２日

# 英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース<br>第１１回会合の開催について

１．趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の今後の対応について検討するために，１月２２日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第１１回会合を開催。

２．タスクフォース出席者

| | | |
|---|---|---|
| 議　長 | 西村　康稔 | 内閣官房副長官 |
| 副議長 | 古谷　一之 | 内閣官房副長官補（内政） |
| | 兼原　信克 | 内閣官房副長官補（外政） |
| 構成員 | 多田　明弘 | 内閣府政策統括官（経済財政運営担当） |
| | 中島　淳一 | 金融庁　総括審議官 |
| | 吉田　眞人 | 総務省　国際戦略局長 |
| | 香川　剛廣 | 外務省　国際貿易・経済担当大使 |
| | 塚田　玉樹 | 外務省　経済局審議官 |
| | 高見　博 | 財務省　大臣官房審議官 |
| | 吉田　学 | 厚生労働省　医政局長 |
| | 横山　紳 | 農林水産省　大臣官房総括審議官（国際担当） |
| | 三浦　聡 | 経済産業省　通商政策局通商交渉官 |
| | 吉田　晶子 | 国土交通省　大臣官房審議官（国際担当） |
| | 其田　真理 | 個人情報保護委員会　事務局長 |

３．第十一回タスクフォースの概要

（１）１月２２日，英国のＥＵ離脱に関するタスクフォースの第１１回会合が，議長である西村官房副長官の下，１０関係府省庁等が出席して開催された。

（２）同会合では，各府省庁等から，英・ＥＵ間の離脱交渉を始めとする，これまでの展開について得られた情報や現時点の分析について報告があり，今後の対応について検討を行った。

（３）西村官房副長官から，今月１０日の安倍総理の英国訪問に同行した機会に，私自身，英国で活躍する日系企業から「合意なき離脱」となる場合の懸念等を直接伺うとともに，イングランド銀行総裁とも意見交換を実施した，日系企業の活動を後押しし，英国と共に経済成長するためにも，「合意なき離脱」の回避は不可欠，このような観点から，先般の日英首脳会談においても，安倍総理からメイ首相に対し強く働きかけた，２１日の政府による方針の発表を踏まえて，引き続き英国議会では審議等を行い，２９日に採決を行うこととしているが，結果として，「合意なき離脱」を避けることができるのか，確たる見通しは立たない状況にある，政府としては，引き続き関連動向を注視していくとともに，英国及びＥＵ進出日系企業等に対する情報提供や支援を含め，必要な対応を継続していく旨述べた。

（４）また，西村官房副長官から，第一に，今後「合意なき離脱」となる場合も含め，日系企業の予測可能性を高めることに資する取組が重要であり，在外公館等を通じ，英国のＥＵ離脱の状況に関する情報収集を更に強化し，日系企業に対する情報提供・支援を強化すること，第二に，英国及びＥＵ双方に対し，引き続き「合意なき離脱」の回避を求めていくとともに，英国のＥＵ離脱による影響

が最小限になるよう英国及びＥＵの双方に対し，引き続き様々なレベルで最大限働きかけていくこと，第三に，関係省庁から所管業界に対し，引き続き，「合意なき離脱」の場合も含めた英国のＥＵ離脱への備えを強く促すことにつき，指示があり，仮に「合意なき離脱」となる場合でも，政府として，離脱による悪影響が最小化されるよう英国及びＥＵに適切な手当てが取られるよう働きかけ，日系企業の事業が継続されることが重要である旨述べた。